

審 議 資 料

項目：生態系（生物の生育・生息基盤、水循環、生物・生態系、緑）

担当：興水委員

意 見

【生物の生育・生息基盤】

1 地上部のオープンスペースに高木及び地被類を植栽し、コンコース上の人工地盤植栽や屋上緑化等を行う計画としていることから、この植栽計画について明らかにすること。

また、隣接する緑地等の賦存地と一体となった生物の生育・生息基盤が形成されるとしていることから、隣接する緑地等との関係についても具体的に説明すること。

【生物の生育・生息基盤】

2 人工地盤植栽を行うことから、生物の生育・生息基盤が維持されるよう管理計画を定めて適切に管理すること。

【水循環】

3 地下水浸透能について雨水流出抑制計画書を引用しているが計画地には緑地も存在していることから、緑地についても評価すること。

また、地下水涵養能が維持されるよう雨水浸透施設を適切に管理すること。

【生物・生態系】

4 調査範囲が武蔵野の森総合スポーツ施設・東京スタジアム会場エリアと武蔵野の森公園会場エリアであることから、エリアごとの調査結果を明らかにし、予測・評価すること。

【緑】

- 5 計画地内に新たな憩いの場を提供し、周辺の緑への動線が創出され、来訪者に緑と触れ合う場所を提供できるとしていることから、計画地周辺の緑化計画も含めて図などを用いて具体的に示すこと。

審 議 資 料

項目：アメニティ・文化（自然との触れ合い活動の場、歩行者空間の快適性）

担当：興水委員

意 見

【自然との触れ合い活動の場】

- 1 周辺への自然との触れ合い活動の場までの利用経路が充実するとしていることから、この利用経路について、計画地内の動線計画も含めて明らかにすること。

【歩行者空間の快適性】

- 2 暑さ指数（WBGT）について、予測条件及び算出過程を明らかにすること。

【歩行者空間の快適性】

- 3 日影のない直射日光下では熱中症が全ての生活活動でおこる危険性がある「危険」レベルになると予測されていることから、歩行者空間の暑さ対策により一層努めること。

審 議 資 料

項目：温室効果ガス（温室効果ガス、エネルギー）

担当：野部委員

意 見

【温室効果ガス】

- 1 予測の根拠となる類似施設の実績について、当該施設の改修前の実績値を用いていることから、改修後の実績値を用いて予測すること。

【エネルギー】

- 2 予測に用いた類似施設の実績値が、建築物エネルギー消費量調査報告におけるスポーツ施設のエネルギー原単位と比較して大きいことから、より一層のエネルギー使用量の削減に努めること。

【温室効果ガス、エネルギー共通】

- 3 コージェネレーションシステム等の導入により温室効果ガスの排出量及びエネルギーの使用量が削減されると予測していることから、それぞれの設備の規模を具体的に記述すること。

審 議 資 料

項目：土地利用（土地利用）

担当：興水委員

意 見

【土地利用】

事業の実施に伴い計画地の土地利用は、全てスポーツ・興業施設となることから、現況と将来の土地利用状況の変化について具体的に図示すること。